

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



菊地圭尚

(北海道/89期)

ウィナーズカップの落車で鎖骨、ろっ骨を骨折して膝の打撲もひどかった。今は宮杯での復帰を目標にやっています。こんなパターンで地元記念を走るの初めてだけど、ダメ元で思い切り暴れてやろうかなと。怪我したけど、すべてを力にして頑張りたい。

中村敏之輔

(北海道/91期)

(函館記念が)今年走る一番大きいレースだし、そこに向けて練習しています。普段は札幌にいるんですけど、直前に函館ナイターの誘導が入っているので、そこで昼間にバンク練習して感覚をつかみたい。初日をクリアできればチャンスはあると思う。



森田優弥 (埼玉/113期)

好素材ぞろい第113期生の一員。まだS級での経験は浅いため、レースの組み立てには課題があるが、先行力は十分に通用している。4月伊東G3では1②③着で決勝進出。Gレース2度目の参戦の今節は4日間注目。



村田雅一 (兵庫/90期)

差し脚に磨きがかかり、徐々にステージを上げてきた。昨年10月松戸でS級初Vを達成すると、4月和歌山では2V目をゲット。2月奈良記念で優参するなどGレースでも存在感を示している。



藤井 栄一 (兵庫/99期)

ほとんどのレースで最終ホーム、バックを取っていて、先行勝負に迷いはない。5月平塚記念2⑧⑨①着、同月弥彦は2②着で決勝進出していて最近の動きもいい。一予、二予、選抜クラスなら好勝負が期待できる。

RAINBOW CUP CHALLENGE FINAL

6/25 (最終日) 6R

A級3班戦

結束なら
愛知勢が強力



福田 真平

3着までが2班に特班するが、全員が来期の2班を決めている、純粋な力比べのシリーズだ。それでもライン戦にはなりそう、井田晶之―福田真平―井上嵩で結束なら愛知から勝者が出る可能性が一番高い。今年5Vと馬力ある井田が先制なら、まくり鋭い福田には絶好機かどうか。

磯川勝裕、中嶋宣成の関東勢も強力。中嶋はしばしば同期に前を任せており、先行意欲高い磯川に乗っての一発は怖い。

九州は、山口敦也―園田鉄兵で組むだろう。ダッシュある山口が最終的に出切れれば、タテヨコ自在な園田と一騎打ちだ。

久樹克門、内山雅貴は十分Vを狙える。内山のスピードは破格で、この前に特班の可能性もある久樹は最も勢いがある。